平成22年度に実施した事務事業の評価

番号	23002	事務事業名	扶助費認定事務	所管課	福祉課

総合計画体系（後期）			
	部	5	市民の健康づくり・福祉の向上
	章	5	社会保障制度の健全運営
	節（施策）	3	生活支援の充実

【将来像】

節（施策）の目的です。後期基本計画の施策の将来像を確認し、転記してください。

経済的に支援が必要な人に適切な支援を行っています

【事業の内容】

誰・何に対して、どんな手段を実施していますか（しますか）？

生活保護世帯の自立に向けた支援。

事業費（単位：千円）		21年度決算	22年度決算	23年度予算
事業費合計		1,372,894	1,498,611	1,622,081
財源内訳	国・県支出金	1,040,601	1,143,074	1,272,041
	地方債			
	その他	4,819	5,634	1,000
	一般財源	327,474	349,903	349,040
財源名	国・県支出金	生活保護費等国庫負担金・県費負担金	生活保護費等国庫負担金・県費負担金	生活保護費等国庫負担金・県費負担金
	地方債			
	その他	生活保護費返還金	生活保護費返還金	生活保護費返還金

【事業の効果】

誰・何がどのような状態になることを目指していますか？

生活保護世帯の就労可能な稼働年齢層や、健康管理支援を行い自立指導を行う。

指標名（成果指標）	説明・算定式	単位	実績の推移			22年度		目標値			
			19年度	20年度	21年度	目標	実績	23年度	24年度	25年度	26年度
増収による自立	稼働・増収世帯数/廃止世帯	%	11	27	14	15	15	15	15	15	15

平成22年度に実施した事務事業の評価

22年度 実施計画	生活保護世帯の自立に向けた支援。訪問調査活動の充実。要保護世帯向け長期生活支援資金の活用。自立支援プログラムの活用。
実施結果	実績となる数字も入れて、分かりやすく 平成２２年度は稼働年齢層の就労支援を行い、増収・就労に繋がった件数が２３件でその内２件の自立廃止を行った。

【一次評価(担当課から)】

必要性の評価	評価	その評価をした理由
市民のニーズはどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している	1	生活保護面接相談の実施。
民間、国、県、市が行う他の事務事業と 事業の目的や成果が重複していませんか？ 1　重複していない　2　一部重複している　3　重複している	1	生活保護法に基づき適正な認定を行った。
有効性の評価	**評価**	**その評価をした理由**
目的に対しての成果はどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　落ち込んでいる	1	生活保護の適正な認定を行った。
市民参画協働の推進や、 社会情勢の変化などに対応できていますか？ 1　対応できている　2　対応の必要がない　3　対応できていない	1	生活困窮者に対して適正な認定を行った。
効率性の評価	**評価**	**その評価をした理由**
コスト効率はどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している	1	生活保護法、他法他施策により適正な認定を行った。
公平性の評価	**評価**	**その評価をした理由**
特定の受益者に偏っていませんか？ 1　偏っていない　2　法律や条例でやむを得ず偏っている 3　偏っている	2	生活保護法、他法他施策により適正な認定を行った。

総合評価と今後の方針			具体的な改善策
内容	維持	生活困窮者に対して、面接相談を行い他法他施策の活用し、適切な扶助費の認定に努めた。	
予算	拡充		

【平成24年度に向けての二次評価(最終評価)】

理由及び検討事項		
内容	維持	今後も効率的、効果的に自立に向けての支援を実施する必要がある。なお、新たな予算要求がないため、予算は「維持」とした。
予算	維持	